

特集：ごみに関するアンケート

市民に「ごみ減量とリサイクル」の意識と行動を聴くアンケートを実施しました。街に出て、ごみ集積所などもレポート。実際に出されたごみの状況からアンケートと実態のギャップも見つかりました。

大人 v s 中学生



おとな、大ピンチ？ 中学生が4R がんばっています！

市は昨年9月、市民を対象に「浦安市ごみに関するアンケート調査」を行い、ごみの減量やリサイクルに対する意識や行動などを聴きました。これは、ごみの発生から最終処分までの方針を示す「浦安市一般廃棄物処理基本計画」を策定する上で、基礎データとなるものです。ビーナスニュースでは、この調査が大人だけでなく、中学生にも聴いていることに注目。普段からどんなことを心がけているのか、市民まつりで子どもたちにもインタビューも行いましたので、併せてご紹介します。

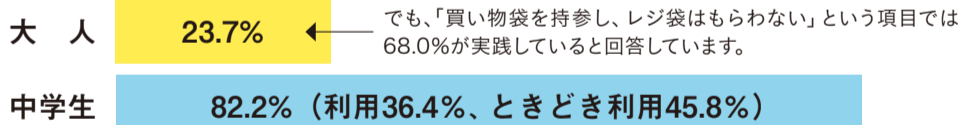
市民アンケート：1,164世帯(回収率58%)が回答(2012年9月14～28日に郵送法で実施) 中学生アンケート：市立の中学2年生579人(回収率97%)が回答(2012年9月5～21日実施)
※このほか、事業者、市民団体、エコショップにもアンケート調査を行いました。
※大人への市民アンケートと中学生アンケートは、同じ質問の仕方ではありません。類似のものを比較しています。



リフューズ Refuse 断る

買い物袋や水筒を持参し、ごみになるものを家庭に持ち込まない

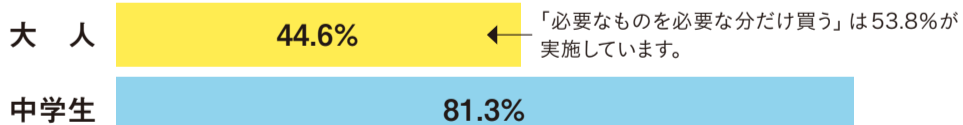
●マイ箸、マイボトル、マイ容器を利用している



リデュース Reduce 少なくする

詰め替え用の活用など、ごみを出さないよう工夫する

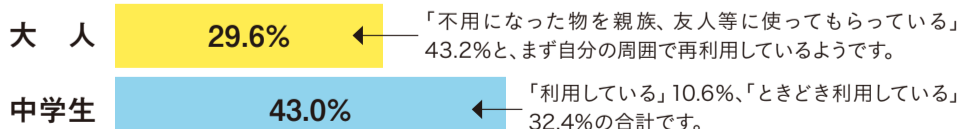
●食べ残しを少なくするようにしている



リユース Reuse 再利用

繰り返し使う、修理して使うなど、ものを大切にする

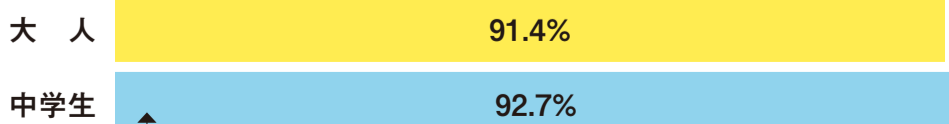
●不用になったものをリサイクルショップを利用して引き取ってもらったことがある



リサイクル Recycle 再生利用

資源物は分別する。でもリサイクルは最後の手段です！

●市の資源分別収集に協力している



質問文：ごみは「燃やせるごみ」、「燃やせないごみ」、「資源物」などに分けて出していますか？

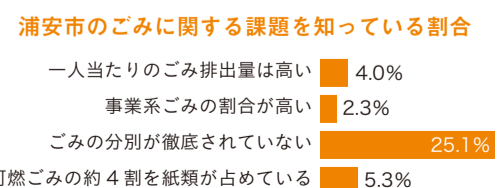
4R？学校で習いました。家では父が広告チラシの裏の白い部分をメモ用紙に使っています。私はリサイクルショップで洋服を買ったりしています。

学校に水筒を持っています！みんな持ってきているし、外で結構遊ぶから、いつでも飲める水筒は便利です！



ありがとうございます。でも、実は…

浦安市のごみ排出量が減少しています。その要因は？と大人の皆さんに聴いたところ、60.1%の人が「市民が行動を起こすようになったから」と回答。本当に、その通りです。いつもありがとうございます。しかし、以下の課題があることをご存じだった人はわずかでした。例えばきちんと分別しているつもりでも、「燃やせるごみ」として出されたごみの約4割を紙類が占めています。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします(解決策のヒントは裏面へ)。



NG①

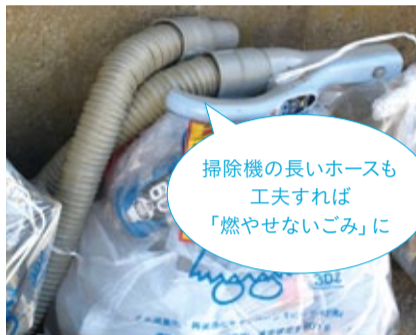
缶やペットボトルなどを袋に入れたまま出している



びん、缶、ペットボトルは専用のコンテナやネットに直接入れるのが正解！袋に入れたまま出さないでください。びんは色分けも必要です。

NG②

粗大ごみを「燃やせないごみ」で出している



長さが50センチを超えるものは、「粗大ごみ」です。切断するなどして、コンパクトにできるものは、「燃やせないごみ」の指定ごみ袋に入れて出してください。

NG③

指定ごみ袋を使っていない



大人の皆さん、間違っていますよ！

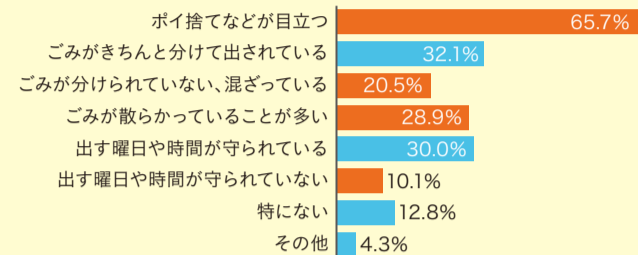
ごみ出しNG集



ごみ置き場で正しい「出し方」を伝えている
ビーナスパトロールの現場などを徹底取材

紙製の容器・包装は雑誌類と一緒に出せば、紙に生まれ変わります。ところが、収集した「燃やせるごみ」の約4割を紙類が占めていることがわかりました。きちんと分別しているつもりでも、実はまだまだ誤解していることがいっぱい。実際にごみの出し方をチェックしてみましょう。

中学生アンケートで聞いた「市内のごみについてふだん感じること」



出し方が間違っていると収集しません。残念な光景です。



問題のあるエリアを巡回しているビーナスパトロール

ここに我々がいるといないでは大違い。でも、本当は誰も見ていなくても、きちんと出してほしいです。ごみ置き場が整然としている街を歩いていると、気持ちいいですよ。



NEW

「エコショップ」に認定！

サミットストア ライフガーデン浦安富岡店

市では、お客様と協力して、レジ袋の削減や資源回収活動に取り組んでいる小売販売店を「エコショップ」として認定しています。ぜひ、ご利用ください。



「汚れていないと、汚さなくなる」

コンフォール浦安弁天（UR賃貸住宅）のごみ集積所で聴きました



「ごみ出しルールが住民の皆さんに徹底されている」と話す管理会社の清掃員さん。ごみ置き場の床もきれいに洗い流しているので、臭いもなく、不快な気持ちになりません。みんなが汚さないよう、気を付けることで、次に出す人も気を付けるようになるのですね。



ぐるぐるちゅん
かいはろく浦やす



ごみ減量・リサイクルの行動を徹底するために

ビーナス推進員が活躍中

市は、条例に基づき、地域でごみ減量・リサイクルを推進するリーダーとして、「ビーナス推進員」を各自治会の推薦によって委嘱しています。分別収集の徹底（掲示物などで住民に呼びかけ）、集団資源回収のほか、研修会や各自治会との情報交換を行う連絡会に参加しています。



JR新浦安駅前でごみ減量を呼びかけるビーナス推進員

CASE1

自治会のお祭りで、「もったいない体操」を子どもたちと踊ってごみ減量を啓発

パークシティ新浦安自治会(明海地区) 崎野和子さん

「ものを大切に」というメッセージを楽しい振付で伝えられる曲なので、ラジオ体操の時や、自治会のお祭りで踊っています。子どもを通して、親や祖父母世代にも伝わってほしいです。



崎野さん自らが振付を解説する手作りDVDを配ったとのこと。簡単なのですがすぐに覚えられます。「もったいない体操」については、ごみゼロ課にお問い合わせください。

CASE2

「わかりやすいキャッチフレーズでルールを徹底しています」

セレナヴィータ新浦安自治会(日の出地区) 酒井智子さん

管理組合と連携して活動しています。ごみ集積所の配置を変えたら大好評。みんな出しやすくなったと喜んでいただきました。



缶詰などが未開封のまま大量に捨てられたことがあり、写真を撮って「二度としないでください」と訴えました。



壁面に手作りの掲示物を貼って正しい出し方を伝えています。

古着・古布
再利用する人に気持ちよく届けよう！
洗って、干して、見える袋でEco力UP

紙製容器包装
使える再生紙を作ろう！
おもちゃの箱も、お菓子の箱も、ティッシュの箱も、ビニール外して紙の袋でEco力UP

環境フェアでペットボトルを「踏んで、つぶす」体験！

昨年6月23日に開催された市の「環境フェア」で、缶やペットボトルを「足踏み式」で簡単につぶせる器具の体験コーナーを設置。資源回収されるペットボトルの数が増え、「キャップとラベルをとる」とともに、運搬費用の削減につながる「踏んで、つぶす」を各家庭で徹底していただくよう、呼びかけました。外出先でも心がけてください。一人ひとりがひと手間かけるだけで、大きな成果につながります。



グルンも体験中！

